

ぶうげんびりあ7月

2021年 7月号 No.265

<https://ainohamajiaikai-k.or.jp/>

編集・発行 障害者支援施設 愛の浜園
奄美市名瀬大字知名瀬2504
TEL:54-8011 FAX:54-8012

No.1



先日、昼食に入った食堂での待ち時間、壁に飾っていた墨字で書かれた色紙を見てドキッとしました。「子供を叱るな、来た道。年寄りを笑うな、行く道。」と書かれていました。子供に「勉強なさい」と言うのは逆効果だと分かってはいるものの、ついつい怒鳴ってしまいます。今年、米寿を迎える母が、近頃は数年前と今の事が入り混じって、時々意味不明な事を言います。そういう時には否定せず、傍で見守り、寄り添う事が大切だと思います。利用者に接する時にも、相手の気持ちになって寄り添う支援を心掛けたいと思います。(副主任:福山)

7月行事予定表

- 1日(木):コロナワクチン接種
 - ①グループ 1回目
 - 体重・血圧測定
- 2日(金):遠足(就労B)
- 13日(火):音楽の日
- 14日(水):避難訓練
- 15日(木):コロナワクチン接種
 - ②グループ 1回目
 - 健康相談
- 21日(水):コロナワクチン接種
 - ①グループ 2回目

夕涼み会は8月に延期になりました。

お誕生日おめでとう



一日遠足 生活介護

6月10日(木)、一日遠足がありました。今年も、コロナの影響で、外出がなかなか出来なかったのですが、コロナ警戒基準の緩和もあり、久しぶりにドライブを楽しみながら宇検村(うけんそん)へ出かけました。食事は宇検食堂でお弁当を食べ、利用者の皆さんも景色や食事を楽しむ事が出来ました。今回は2つのプランを計画し、担当と利用者さんとで相談しながら選んで貰いました。もう一方は園内でゆっくりと楽しめるよう、たこ焼きやプチドッグを作って過ごすプランです。自分たちで作ったおやつをおいしそうに食べる姿も見られ、普段とは違う過ごし方が出来たかと思えます。これからも、利用者さんが笑顔で楽しく園生活が送れるようにサポートしていきたいと思えます。(記事:森山)



美味しい団子物~ちまきにこもる28年分の思い~

今年も旧端午の節句に合わせて、職員OBの永田 静江(ながた しずえ)さんよりチマキを頂きました。今年で28年目です。「退職する時に利用者さんと約束したから」と毎年利用者さんや職員の為にたくさんのチマキを頂いています。受け取りに何うと、「〇〇さんは元気?」、「食べる時はつまらさんように気をつけないかよね」といつも利用者さんのことを気にかけてくださいます。旧端午の節句にはチマキを食べるという昔からの島の風習を体験できること、利用者さんのことをいつも気にかけてくださっていること、本当にありがとうございます。今年も利用者さん、職員で美味しくいただきました。また来年、お会いできるのを楽しみにしています。(記事:里田(未))



副主任挨拶

4月から、副主任という立場で仕事をさせて頂くことになりました。愛の浜園の中の相談支援事業所「ていだ」で相談員をしている富田 愛心(とみた あいみ)です。愛の浜園に入職後、支援員や相談員の業務に「日々成長」をモットーとして従事してきました。これからは副主任として、園全体の企画、運営に携わる事になります。4月から企画会にも参加していますが、これまで以上に、愛の浜園の職員としての責任を感じています。愛の浜園に入職する前にはマイナス思考な私でしたが、利用者さんと関わる中で前向きに考え、笑顔で過ごす事の大切さを実感してきました。ポジティブに考える事が相談員としての仕事に役立つ事も多くあります。これからは、これまで以上に愛の浜園の職員として、副主任としての自覚を持ち、「利用者さんの笑顔の為に」私にできる事を前向きに全力で考え、取り組んでいきたいと思っております。(記事:富田)



想は届け! ~会いたい気持ちを作品に乗せて~

未だに新型コロナの感染は収まらず、本年度の面会日も設定する事が出来ませんでした。利用者の皆さんも御家族も淋しい気持ちでいらっしゃると思います。それでも、園の皆さんは、とても元気に過ごされています。私たちが元気であること、会いたいと思っていること、そしていつも「ありがとう」という想いを届けたくて、家族会総会に向けて、作品制作に取り組みました。利用者一人一人が「あいじょう」に、ちぎった色紙を貼って色をつけ、それぞれの「あいじょう」が出来上がりました。大きな虹もみんなで作りました。初めはもっと小さい予定でしたが、みんなの想いがどんどん膨らんでいき、縦横3メートルの大きさとなりました。今、作品は多目的ホールに飾っています。早くご家族の皆様に見ていただける日が来ることを願います。(記事:松原(充))



「今は会えなくてとても淋しいけれど、私たちは元気です。どうか、私たちの大事な人たちが元気でありますように…」

家族会総会

例年、5月の第一日曜日に家族会総会を開催していましたが、今年はコロナ感染症の為、6月6日(日)、場所を奄美文化センターに移して行われました。昨年は中止になりましたので、2年振りの開催になりました。役員改選では会長が橋田 隆治(はした たかはる)さんから西浩一郎(にし こういちろう)さんに引き継がれました。西新会長から「利用者の笑顔の為に家族会で協力して頑張ります」との挨拶がありました。家族会も親から兄弟姉妹、従兄弟と変わりつつあり、会則の見直しが必要ではないかとの意見がありました。昨年同様、コロナの関係で行事が中止、縮小されていますが、行事の時には家族会一丸となって盛り上げて頂けたらと思います。(記事:福山)



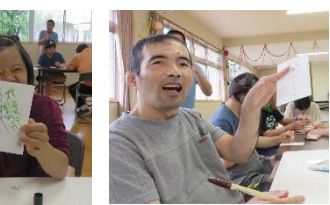
生活介護・活動紹介～ミラクル班～

ミラクル班は、男性利用者11名、女性利用者2名で活動しています。活動内容としては、園内の環境整備、就労B型事業での体験、地域貢献として知名瀬町内のゴミ拾い等を行っています。昨年から力を入れているのは、園内の花壇や花の管理です。昨年は、利用者さんと一緒にヒマワリの種を蒔き、見事に開花させることが出来ました。その他、プランターや花壇に花苗を植え、管理する事で、園内の美化活動に少し貢献出来たと思います。今年は、花の他にトマト、インゲン、ピーマン等野菜苗を植え、管理しています。収穫はもう少し先ですが、収穫した際にはご報告させていただきますので、どうぞお楽しみに！

(記事:河村)



6月の愛の浜園



日常の一幕

月間三賞受賞者

<努力賞>

- ・酒井 真希さん・・・病院受診を落ち着いて受けることが出来、また毎日塗布治療を頑張り、完治しました。
- ・光 優輔さん・・・食堂のテレビがついていても気にすることなく、落ち着いて過ごす事ができるようになりました。
- ・徳 朋裕さん、宝田 元気さん、隈元 利彦さん
・・・洋服等の片付けや物の整理整頓を頑張っていました。
- ・碩 友美さん・・・訪問歯科にて、虫歯の治療を最後まで頑張ることが出来ました。
- ・田中 國枝さん・・・訪問歯科にて、落ち着いて抜歯をすることができました。
- ・竹田 美喜子さん・・・毎日部屋の掃除を頑張りました。
- ・平山 和子さん・・・毎日、朝礼に参加し、園歌の指揮を頑張りました。
- ・永田 三十六さん・・・就労Bにて公園のトイレ掃除に毎日欠かさず取り組むことが出来ました
- ・生野 由子さん・・・体調を崩すことなく、就労Bの農芸作業などに積極的に取り組むことが出来ました。
- ・中田 茂代さん・・・グループホームにて、洗濯物干しを自主的に取り組む事が出来ました。
- ・幸 裕次郎さん・・・グループホームから愛の浜園へ通う事がスムーズに出来るようになりました。
- ・大山 真言さん・・・落ち着いて生活できました。

<奉仕賞>

- ・岩越 タツヨさん・・・カフェタイムでコップ拭きを手伝ってくれました。
- ・猿渡 明弘さん・・・カフェタイムのコップ洗いを率先して、してくれました。
- ・森山 真智代さん・・・創作活動の千切り絵を自発的に取り組み、協力してくれました。
- ・森山 麻李亜さん・・・換気の放送がなくても、時間を見て、窓を開けてくれました。
- ・隈元 利彦さん・・・男性棟の洗面所の掃除を頑張りました。

<親切賞>

- ・稲田 吉浩さん・・・他利用者の洋服の乱れに気付き、直してくれました。
- ・森山 真智代さん・・・他利用者のエプロンのボタンを留めてくれました。
- ・満林 アツ子さん・・・食堂で隣の利用者が落ち着かずソワソワすると、優しく話しかけたり背中をさすったりしてくれました。
- ・里 喜美子さん・・・病院受診の際、「ありがとう。」と医師にお礼を伝える事が出来ました。
- ・徳 朋裕さん・・・食事の際、他の利用者を気に掛け、パンの袋を開けるのを手伝ってくれました。
- ・圓 初代さん・・・就労Bでの工作中、職員から手伝いの声掛けされると快く取り掛かってくれました。
- ・中江 公三さん・・・①周りの利用者への気配りをしてくれます。②目が不自由な利用者の事を気に掛け、身の回りのお世話をしてくれました。
- ・郁 一男さん・・・目が不自由な利用者の事を気に掛け、布団の準備をしてくれました。

心より感謝申し上げます。

奄美市立小宿中学校様などからスマホ、特定非営利活動法人 SDGs 奄美様がお菓子の詰め合わせおよびNPO法人フードバンク奄美様から沢山のタオルをいただきました。有効に使わせて頂きます。ありがとうございました。

